

# 令和6年度

## 社会福祉法人西都市社会福祉協議会 事業報告

### I 事業の概況

西都市では、高齢化率が39.44%（令和7年4月1日現在 前年4月39.02%）となり、少子高齢化の中で単身世帯の増加や人間関係の希薄化、雇用のあり方の変化など地域社会の変容により、既存の制度では対応の難しい複雑・多様化した生活・福祉課題が増加しています。

本会においては、財政的には厳しい状況の中、地域福祉を推進する中核的な団体として行政や各関係機関・各種団体及び住民組織等の支援や協力を得ながら、事業計画で掲げた「地域社会との連携強化」「権利擁護と説明責任」「コンプライアンスと組織強化」「経営改善計画に基づいた経営基盤の確立」の4つの重点事項に基づき、活動を進めました。

各事業の実施にあたっては、地域福祉活動のさらなる推進と業務効率の向上を目指し、3課6系の体制に事務局組織の再編成を行いました。

また、本年度は第3次地域福祉活動計画最終年度であり局内会議を行い策定に向け取り組みを行うと同時に、急速に変化している地域や社会の状況に対応できるよう、継続して地域のネットワークづくり、住民参加、福祉教育と総合相談支援体制の構築、専門職と連携した地域福祉の推進など、複雑化・複合化している課題に対して伴走型（寄り添い）支援の実践と重層的支援体制整備事業による地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制整備とあわせて、行政と協議を行いお互いに認識を深め地域支援を進めました。

今後も経営改善計画を意識しながら、行政とも協議を重ね地域福祉計画・地域福祉活動計画に沿った事業を展開していきます。

以下、その実施内容について報告します。

### II 社協概要

名称	社会福祉法人西都市社会福祉協議会
設立年月日	昭和43年3月12日
役員	【理事】9名（内会長1名、副会長1名） 【監事】2名 【評議員】14名
事務局組織	31頁参照

### III 具体的実施事項

#### 1 法人運営部門（総務課 総務係）

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、各部門間の調整を行い、社協全体の管理業務を行い、また、適正かつ公正な財務管理に努め、以下の事業を実施した。

(1) 理事会・評議員会等の運営

事業執行と管理・監督のチェック機能を高めるとともに、理事会は執行機関として、評議員会は議決機関として、双方の役割機能を発揮できるよう円滑かつ効率的に本会運営を推進してきました。

また、本会のより健全な経営及び運営を図るため、監事の指導及び監査により会務の適正な執行に努めました。

## ア 理事会の開催

### 第1回 令和6年5月29日(水)

- ① 出席者 理事9名 監事2名
- ② 会場 決議の省略により実施
- ③ 議事
  - 議案第1号 評議員候補者の推薦について
  - 議案第2号 評議員選任・解任委員会の招集について
  - 議案第3号 評議員会の招集について

### 第2回 令和6年6月10日(月)

- ① 出席者 理事8名 監事2名 欠席者 理事1名
- ② 会場 西都市地域福祉センター
- ③ 議事
  - 議案第1号 令和5年度事業報告について
  - 議案第2号 令和5年度収支決算について
  - 議案第3号 令和6年度収支予算補正について
  - 議案第4号 評議員会の招集について

### 第3回 令和6年10月2日(水)

- ① 出席者 理事8名 監事1名 欠席者 理事1名 監事1名
- ② 会場 西都市地域福祉センター
- ③ 議事
  - 議案第1号 臨時職員給与規程の一部改正について
  - 議案第2号 パートタイム職員給与規程の一部改正について
  - 議案第3号 非常勤職員給与規程の一部改正について
  - 議案第4号 たすけあい資金貸付金の不能欠損処分について
  - 議案第5号 評議員会の招集について

### 第4回 令和7年3月6日(木)

- ① 出席者 理事9名 監事2名
- ② 会場 決議の省略により実施
- ③ 議事
  - 議案第1号 評議員会の招集について

第5回 令和7年3月18日(火)

- ① 出席者 理事8名 監事2名 欠席者 理事1名
- ② 会場 西都市地域福祉センター
- ③ 議事

- 議案第1号 定款の一部改正について
- 議案第2号 職員給与規程の一部改正について
- 議案第3号 嘱託職員給与規程の一部改正について
- 議案第4号 令和7年度事業計画(案)について
- 議案第5号 令和7年度資金収支予算(案)について
- 議案第6号 役員等賠償保険の加入について
- 議案第7号 福祉サービスに関する苦情解決第三者委員の選任について
- 議案第8号 評議員会の招集について

イ 評議員会の開催

第1回 令和6年6月6日(木)

- ① 出席者 評議員14名
  - ② 会場 決議の省略により実施
  - ③ 議事
- 議案第1号 理事の補充選任について

定時評議員会 令和6年6月28日(金)

- ① 出席者 評議員9名 監事2名 欠席者 評議員5名
  - ② 会場 西都市地域福祉センター
  - ③ 議事
- 議案第1号 令和5年度事業報告について
- 議案第2号 令和5年度収支決算について
- 議案第3号 令和6年度収支予算補正について

第2回 令和6年10月10日(木)

- ① 出席者 評議員10名 監事2名 欠席者 評議員4名
  - ② 会場 西都市地域福祉センター
  - ③ 議事
- 議案第1号 臨時職員給与規程の一部改正について
- 議案第2号 パートタイム職員給与規程の一部改正について
- 議案第3号 非常勤職員給与規程の一部改正について

第3回 令和7年3月14日(金)

- ① 出席者 評議員14名

② 会 場 決議の省略により実施

③ 議 事

議案第 1 号 理事の補充選任について

第 4 回 令和 7 年 3 月 27 日 (水)

① 出席者 評議員 8 名 監事 2 名 欠席者 評議員 6 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

議案第 1 号 定款の一部改正について

議案第 2 号 令和 7 年度事業計画 (案) について

議案第 3 号 令和 7 年度資金収支予算 (案) について

ウ 評議員選任・解任委員会の開催

第 1 回 令和 6 年 6 月 19 日 (水)

① 出席者 4 名

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 議 事

議案第 1 号 評議員の選任について

エ 監査の実施

(ア) 決算監査

① 期 日 令和 6 年 5 月 30 日 (木)

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 出席者 監事 2 名

④ 内 容 1 令和 5 年度業務執行状況

2 令和 5 年度収支決算状況

※6 月 10 日の理事会及び 6 月 28 日の定時評議員会にて監査結果報告

(イ) 上半期監査

① 期 日 令和 7 年 1 月 15 日 (水)

② 会 場 西都市地域福祉センター

③ 出席者 監事 2 名

④ 内 容 1 令和 5 年度監査時点での事業未収金確認

2 令和 6 年度上半期業務執行状況確認

3 令和 6 年度上半期収支計算状況確認

4 業務執行確認

(ウ) 社会福祉法人指導監査

① 期 日 令和 7 年 2 月 27 日 (木)

- ② 会 場 西都市地域福祉センター
- ③ 出席者 西都市福祉事務所 2 名 西都市健康管理課 2 名
- ④ 内 容 令和 5 年度業務執行状況等

オ 経理事務の外部（税理士事務所）指導の実施

税理士法人アイビーパートナーズの税理士より、2 か月に 1 回（4 月・6 月・9 月・10 月・12 月・2 月）の指導を受け実施した。

カ 定例課長会議／定例事務局会議（事務局長・次長・課長・係長）

各係における事業の進捗状況や課・係を横断した内部連携の強化を図るとともに、事務局の意思統一及び決定の場として実施した。

(2) 施設（総合福祉センター）の指定管理者としての管理運営

総合福祉センター（老人福祉センター及び地域福祉センター）については、指定管理者として、市民からの相談に対応するとともに、市民の福祉活動や各種団体等の研修活動等適切な管理運営に努めた。また、非常事態に備え、災害発生を想定した避難誘導訓練・消火訓練を西都市消防本部の職員を講師に迎え、10月17日（木）に実施し、台風接近に伴い西都市からの要請を受け福祉避難所としての対応も行った。

(ア) 指定管理期間

- 西都市地域福祉センター指定管理 (令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日)
- 西都市老人福祉センター指定管理 (令和 6 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日)

(イ) 台風 10 号接近に伴う福祉避難所開設

- ① 期 日 令和 6 年 8 月 28 日（水）～29 日（木）
- ② 場 所 西都市地域福祉センター
- ③ 人 数 5 組 7 名

(3) 車両の管理・運行及び交通法令遵守の徹底

公用車の保管及び整備と職員の更なる交通安全意識の高揚を図るとともに、福祉バス（中型バス・マイクロバス）を活用した団体等への積極的な支援に努めた。

利用団体名等	中型バス		マイクロバス	
	回数	人数	回数	人数
区福祉推進会（サロン事業含む）	46	934	20	268
みんなのデイサービス事業等	0	0	88	1,012
市役所関係	4	93	1	22
保育所関係	16	436	5	100
学校関係	9	230	2	33
その他各種団体	39	1,011	14	265

合計	114	2,704	130	1,700
年間走行距離	14,474Km		9,458Km	

(4) 職員の人材育成・研修事業等

ア 職員研修の実施

職員の法令遵守（コンプライアンス）意識の徹底、能力開発及び資質の向上等を図るため、職場内研修や係ミーティング（定期的）を行った。

(ア) 職員研修会

- ④ 期 日 令和6年4月26日（金）
- ⑤ 会 場 西都市地域福祉センター
- ⑥ 内 容 各係の業務内容説明

(イ) 職員勉強会

- ① 期 日 令和6年7月25日（木）
- ② 会 場 西都市地域福祉センター集会室
- ③ 出席者 西都市福祉事務所2名 西都市健康管理課1名  
事務局長・総務係職員3名
- ④ 内 容 消費税について

(ウ) 社協活動と重層的支援体制に関する研修会

- ① 期 日 令和6年8月7日（水）
- ② 会 場 西都市地域福祉センター
- ③ 内 容 社協活動と重層的支援体制について  
講師：宮崎県社会福祉協議会 事務局長 坂本雅樹 氏

イ 人事評価（能力評価）の本格実施

課長職以上の職員に対して令和元年度より試行期間として実施してきたが、事業計画並びに経営改善計画に従い令和5年度より係長職以上の職員を対象に、人事評価実施要綱に基づき令和6年11月1日を基準日として令和6年10月1日より施行した。この評価を、今後も地域福祉を推進する公益法人の職員として、専門性に加え高い倫理観、使命感が求められているということを常に意識した人材育成、能力向上に努めていきたい。

(5) 広報・啓発活動

広報担当者と各部門職員が連携して、毎号多様な角度から社協事業の啓発に努め、福祉に対する市民の理解と関心を高めるとともに市民の福祉活動への積極的な参加を促す広報・啓発活動に取り組んだ。

- 広報誌「西都社協だより」年3回発行 回覧で配布
- ホームページでの情報発信（随時） ボランティア団体の活動、各係の事業、社協情報誌等を掲載

## (6) 財政基盤の確立

### ア 収入の確保

地域福祉の推進を図るため、社協の構成員（会員）である市民に社協活動への理解及び参画を呼び掛け、会費納入の協力依頼を行うとともに、香典返しをはじめとする特別寄附金（篤志寄附）などを受け付けた。

また、宮崎県共同募金会西都市共同募金委員会との連動による募金運動の推進を行った。その他の財源収入（補助金・助成金・介護保険事業収入等）状況は、別添決算書のとおりです。

なお、人口減少やコミュニティ意識の希薄化（自治会組織からの退会等）により、収入の減少が予測されるため、継続して対策も検討が必要な状況となっている。

#### (ア) 会費

種 別	金 額
個人会費（各世帯等）	2,633,765 円
特別会費（福祉施設・団体・機関等）	0 円
賛助会費（会社・事業者等）	0 円
合 計	2,633,765 円

#### (イ) 特別寄附（香典返し）

内 訳	金 額
寄附件数	121 件
寄附金額	2,430,000 円

#### (ウ) 一般寄附（一般寄附金）

内 訳	金 額
寄附件数	5 件
寄附金額	140,383 円

#### (エ) 共同募金

種 別	金 額
一般募金	3,941,000 円
歳末たすけあい募金	917,540 円
合 計	4,858,540 円

## 2 地域福祉活動推進部門（地域福祉課 地域支援係）

地域共生社会の実現に向け、地域住民や様々な団体に対し、安心して、自分らしくいきいきと暮らし続けるために社会福祉制度や地域福祉活動への関心と理解をすすめる、地域課題や生活課題を解決するための実践力を身につけてもらうことを目的に、以下の事業を実施した。

### (1) 小地域ネットワーク事業

福祉推進会長の推薦により、概ね 30 世帯に 1 人の割合で委嘱する福祉協力委員が一体とな

って、支援が必要な地域住民の早期発見・見守り・支援活動を行なう事業で、組織的かつ生活圏域に合わせて事業展開を図るため、行政区ごとに福祉推進会を組織し、「地域の福祉力強化推進事業」や「ふれあい・いきいきサロン事業」に取り組めるよう支援を行った。

なお、小地域ネットワーク事業に関して、出前講座を行うなど住民組織や関係者とともに意見交換を行った。

#### ア 区福祉推進会設置状況

地 区 名	設置数	実施数
妻	26 か所設置	16 か所設置
穂 北	14 か所設置	3 か所設置
三 納	7 か所設置	7 か所設置
都於郡	8 か所設置	4 か所設置
三 財	8 か所設置	7 か所設置
東米良	1 か所設置	0 か所設置
合 計	64 か所設置	37 か所設置

#### イ 福祉協力委員委嘱状況

地 区 名	人 数
妻	163 名
穂 北	53 名
三 納	57 名
都於郡	46 名
三 財	63 名
東米良	0 名
合 計	382 名

#### ウ 福祉協力委員研修

令和6年6月8日（土）西都市文化ホールを会場に福祉協力委員研修会を開催した。約 180 人が参加する中、NPO 法人ハートム理事長初鹿野聡氏を講師に迎え、「住民同士だからこそできる地域の支え合い」をテーマとした講話をいただいた。

#### エ 地域の福祉力強化推進事業実施状況

プログラム名	推進回数	回数
福祉強化力推進事業（交流事業や社会参加促進、またコロナウイルス感染症対策による見守り訪問活動等）	37 か所	71 回
支援が必要な地域住民宅への訪問・声掛け活動	31 か所	660 回
地域の生活課題等を専門機関につなげる活動	20 か所	109 回
公民館活動（敬老会等）への支援活動	26 か所	98 回
健康づくり活動（百歳体操等）の実施	27 か所	967 回
委員会（会議）の開催	34 か所	135 回

自己財源確保事業	27 か所	
----------	-------	--

#### オ ふれあい・いきいきサロン事業実施状況

区や公民館エリア等、地域住民の身近な生活圏域において、福祉推進会役員（区長・民生委員児童委員・福祉協力委員）と地域住民が協働で企画・運営を行い、地域住民の仲間づくり、健康づくり、生きがいを目的として実施した。

本年度は 38 か所の福祉推進会等（45 か所の拠点）が、気軽に・無理なく・楽しく・自由な発想のもと活動が推進できるよう支援を行った。

##### （ア）事業実績

区 分	数 値
実施福祉推進会等数	45 か所／38 拠点
実 施 延 べ 回 数	496 回
参 加 延 べ 人 数	6,538 名

##### （イ）拠点ごとの事業実績

No	福祉推進会・サロン名	実施回数	主なサロンの内容	延人数
1	妻第 4・5 区福祉推進会 （百歳体操）	12	百歳体操・昼食会・お茶会・交流会・外出交流・健康確認等	254
2	妻第 7 区福祉推進会 （稚児が池サロン会）	12	出前講座・勉強会・お茶会・小物作り・講習会・百歳体操等	135
3	妻第 8 区福祉推進会 （8 区いきいきサロン）	12	百歳体操・公民館清掃・ゲーム・外出交流・会食会 等	185
4	妻第 9 区福祉推進会 （桜川会）	12	ゲーム・脳トレ・百歳体操・勉強会・シニアバス利用による外出交流 等	162
5	妻第 10 区福祉推進会 （いきいきはまんこサロン）	12	百歳体操・講習会・創作活動・外出交流・昼食会 等	107
6	妻第 12 区福祉推進会 （妻 12 区 100 歳体操）	9	百歳体操・外出交流・おしゃべり・茶話会・レクリエーション 等	91
7	妻第 13 区福祉推進会 （妻サロン会）	12	百歳体操・おしゃべり・情報交換・レクリエーション・外出交流 等	248
8	妻第 14 区福祉推進会 （14 区いきいきサロン）	12	百歳体操・講習会・創作活動・外出交流・昼食会 等	94
9	妻第 18 区福祉推進会 （こすもす月曜会）	12	おしゃべり・ゲーム・外出交流・健康体操・百歳体操 等	174
10	妻第 20・21 区福祉推進会 （みぎまつサロン（右松町））	12	おしゃべり・交流会・百歳体操・情報交換・茶話会 等	103

11	妻第 20・21 区福祉推進会 (みぎまつサロン (右松村))	12	おしゃべり・交流会・百歳体操・ 情報交換・茶話会 等	125
12	妻第 26 区福祉推進会 (日吉クラブ)	12	おしゃべり・交流会・情報交換・ 調理実習・神社清掃 等	67
13	妻第 27 区福祉推進会 (大口川サロン)	12	脳トレ・軽体操・百歳体操・講習 会・小物作り・ボランティア鑑賞 等	148
14	妻第 29 区福祉推進会 (いきいきサロン)	12	交流会・出前講座・勉強会・社会 見学・百歳体操 等	249
15	妻第 30 区福祉推進会 (童子丸ふれあいサロン)	12	勉強会・柔軟体操・百歳体操・外 出交流・会食会・レクリエーショ ン 等	211
16	穂北第 2 区福祉推進会 (坂江一日会)	12	公民館清掃・植木剪定・出前講 座・講習会・情報交換・外出交流 等	176
17	穂北第 3 区福祉推進会 (島内村なごみ会)	12	筋トレ・体操・情報交換・創作活 動・外出交流・小物作り 等	96
18	穂北第 4 区福祉推進会 (スイートピー穂北)	6	百歳体操・おしゃべり・情報交 換・外出交流 等	66
19	穂北第 10 区福祉推進会 (囲ふれあいクラブ)	12	百歳体操・講習会・昼食会・情報 交換・花の植ええ及び鑑賞会 等	161
20	三納第 1 区福祉推進会 (松本ふれあいサロン)	8	介護予防体操・ゲーム・交流会・ 情報交換・講習会 等	60
21	三納第 2 区福祉推進会 (おしゃべりサロン札の元)	12	軽体操・おしゃべり・歌・音楽鑑 賞・情報交換・講習会 等	127
22	三納第 3 区福祉推進会 (かんのん ふれあいサロン)	8	おしゃべり・交流会・ゲーム・ 歌・軽体操・講習会・外出交流 等	110
23	三納第 4 区福祉推進会 (いきいきサロン「緑茶の会」)	6	おしゃべり・情報交換・歌声喫 茶・花見会・外出交流・出前講座 等	68
24	三納第 5 区福祉推進会 (三納山桜：原田)	11	百歳体操・おしゃべり・情報交 換・茶話会・会食会・外出交流 等	179
25	三納第 5 区福祉推進会 (三納山桜：平野)	10	百歳体操・おしゃべり・情報交 換・茶話会・会食会・外出交流 等	148
26	三納第 6 区福祉推進会 (竹の内いきいきサロン)	8	講習会・交流会・小物作り・創作 活動・おしゃべり・軽体操 等	75
27	三納第 7 区福祉推進会 (はつらつおしゃべりサロン)	12	ゲーム・講習会・百歳体操・外出 交流・カラオケ・グランドゴルフ 等	279
28	都於郡第 1 区福祉推進会 (マンショ)	12	ゲーム・脳トレ・百歳体操・小学 生との交流会・歌・情報交換 等	133

29	都於郡第2区福祉推進会 (げんきか〜い)	11	健康体操・脳トレ・ゲーム・外出 交流・講習会・昼食会・情報交換 等	144
30	都於郡第3区福祉推進会 (ふれあいサロン中村)	12	軽体操・講習会・ゲーム・情報交 換・ボランティア鑑賞・外出交流 等	220
31	都於郡第3区福祉推進会 (坂ノ下いきいきサロン)	11	お茶会・おしゃべり・外出交流・ 講習会・会食会・百歳体操・歌等	112
32	都於郡第3区福祉推進会 (青山サロン)	12	おしゃべり・カラオケ・ゲーム・ 百歳体操・外出交流・講習会等	159
33	都於郡第4区福祉推進会 (いってみる会)	10	交流会・体操・脳活・ゲーム・講 習会・パークゴルフ・外出交流等	105
34	都於郡第4区福祉推進会 (満潮会)	12	交流会・健康体操・花見会・ゲー ム・講習会・おしゃべり・情報交 換等	130
35	都於郡第4区福祉推進会 (満月会)	12	ゲーム・百歳体操・カラオケ・外 出交流・スローエアロビ等	205
36	都於郡第5区福祉推進会 (5区ふれあい・いきいきサロン)	12	交流会・出前講座・ゲーム・歌・ 昼食会・ボランティア鑑賞等	239
37	都於郡第6区福祉推進会 (八木佐野元気会)	8	おしゃべり・情報交換・ゲーム・ 交流会等	50
38	都於郡第8区福祉推進会 (下沖なのはな会)	12	おしゃべり・お茶会・講習会・百 歳体操・脳トレ・外出交流等	110
39	三財第1区福祉推進会 (サロン藤田)	12	交流会・おしゃべり・情報交換・ 外出交流・百歳体操等	119
40	三財第2区福祉推進会 (わちどんの集い)	9	おしゃべり・情報交換・出前講 座・講習会・外出交流等	126
41	三財第3区福祉推進会 (芽ばえ)	12	百歳体操・ゲーム・情報交換・出 前講座・外出交流・昼食会等	210
42	三財第4区福祉推進会 (三財4区いきいきサロン)	12	百歳体操・おしゃべり・レクリエ ーション・ゲーム・外出交流等	146
43	三財第5区福祉推進会 (岩合会)	12	軽体操・ゲーム・脳トレ・小物作 り・情報交換・交流会等	159
44	三財第5区福祉推進会 (2525小野サロン会)	12	ゲーム・軽体操・情報交換会・外 出交流・昼食会等	215
45	東米良第1区福祉推進会推進会 (きまぐれサロン)	9	おしゃべり・交流会・近況報告・ 軽体操・小物作り等	58
	合 計	496回	合 計	6,538名

## (2) ボランティアセンター事業

ボランティア活動に関する相談・支援をはじめ、ボランティアや地域福祉活動に関する情報提供・講座・体験等を実施するとともに、地域住民や関係機関と協働し、災害ボランティアセンターに関する訓練や研修も実施した。

また、ボランティア活動の輪を広げる取り組みや、活動中の事故などに備え、ボランティア活動保険の推奨・受付等も行った。

更に、ボランティア活動に関心を持ってもらうための情報発信・啓発として、本会ホームページによる取り組みの周知や、情報誌作成・配布を行った。

### ア 登録団体・相談・支援実績

区 分	数 値
ボランティアセンター登録団体数	94 団体
ボランティアセンター登録者数	2,515 名
相 談 件 数	35 件
コ ー デ ィ ネ ー ト 件 数	30 件
ボランティア活動保険受付状況	1,223 名
ボランティア行事用保険受付状況	51 件

### イ その他の講座・体験・会議等

区 分	回数	参加者数
小中学校等（さいと学等）でのボランティア講話・各種体験講座等	21 回	約 500 名
宮崎医療福祉専門学校・看護学科 2 年生 地域福祉講座／フィールドワーク（障がい者生活介護事業所スマイル館、清水地区百歳体操、法元地区百歳体操・サロン会、みんなのデイサービス妻地区）／発表	8 回	約 90 名
県下一斉ボランティアの日「記紀の道周辺清掃活動」 （ボランティア連絡協議会との協働作業）	1 回	22 名
西都市ボランティア連絡協議会総会	1 回	33 名
西都市ボランティア連絡協議会役員会 （ボランティアコーディネーターがオブザーバー出席）	11 回	12 名
西都市ボランティア連絡協議会 研修・意見交換会	3 回	45 名
宮崎医療福祉専門学校 災害ボランティア講話 看護科 1・2 年生、理学療法士養成学科 2 年生	1 回	112 名
災害協定締結式（青年会議所、宮崎医療福祉専門学校）	2 回	23 名 （職員を含む）
西都市災害ボランティアセンター研修	1 回	59 名 （職員 9 名含む）
情報発信の取り組み（ホームページへの掲載）	9 回	

### ウ 災害ボランティアセンター強化機能

(ア) 西都市災害ボランティアセンター運営訓練の実施

災害に関する一般知識や災害ボランティアセンター活動の心構えなど、基本的な内容を具体的に学び理解を深めた。

会場	西都市総合福祉センター
期日	令和6年6月29日(土)
講師	一般社団法人ピースボード災害支援センター
対象者	一般市民・防災士・宮崎医療福祉専門学校学生・行政職員・社協職員等
参加者数	59名



### (イ) 災害ボランティアセンター機能強化に向けた連携協定の締結

災害発生時における円滑かつ効率的な災害ボランティアセンターの立ち上げ・運営体制を強化することを目的として、西都青年会議所及び学校法人日章福祉会宮崎医療福祉専門学校と「災害ボランティアセンター運営に関する協定」を締結しました。

発災時の人的・物的支援体制の整備に加え、平常時からの連携や人材育成等に関する協力体制が構築され、地域における災害対応力の向上が期待されます。

- 西都青年会議所との災害ボランティアセンター運営に関する協定（令和6年6月17日締結）
- 学校法人日章福祉会宮崎医療福祉専門学校との災害ボランティアセンター運営に関する協定（令和6年8月26日締結）

### (3) レクリエーション用具の貸し出し事業

小地域ネットワーク事業、ふれあい・いきいきサロン事業、ボランティアセンター事業等、地域住民が主体的に取り組む地域福祉活動に活用できるレクリエーション用具を整備し、無料で貸し出しを行い、住民主体の身近な地域福祉活動の充実を図った。

貸出用備品名	件数	貸出用備品名	件数
スカットボール	24件	ラダーゲッター	0件
シャッフルゴルフ	14件	ストライクナイン	15件
ゲートボール	3件	玉入れ	4件
グラウンドゴルフ	12件	ソフトダーツ	3件
ターゲットバードゴルフ	5件	底抜けホールインワン	7件
どこでもわなげ	4件	たいこ相撲	4件
さくらんぼの木輪投げ	6件	お手玉ボート	2件
輪投げ	22件	点鳥ルーレット	1件
友・遊ボーリング	7件	白黒ゲーム	2件
サンラッキーミニボーリング	10件	リズム楽器セット	1件
ミニボーリング	1件	カラオケ	2件
室内用ペタンク	4件	大型トランプ	3件
バックコーゲーム	1件	四字熟語合わせ	0件

ポケネット	8件	漢字博士	0件
		合計	165件

#### (4) 福祉教育の推進

地域における福祉意識の醸成と、共に支え合う地域づくりの担い手を育みことを目的に、小・中学校等と連携した福祉教育の推進に取り組んだ。令和6年度は、児童生徒の発達段階に応じた講話や体験活動を実施するとともに、音楽を通じて「人権」について考える機会を提供するため、音楽ユニット「アルケミスト」を講師に迎え、穂北小学校において人権コンサートを開催した。

学校名	対象	内容
妻北小学校	3年生	福祉に関する講話（計3コマ）
穂北小学校	1年生	手話体験（計1コマ）
	3年生	点訳体験（計8コマ）
	5年生	地域の高齢者（デイサービス）との交流（計6コマ）
	全学年	アルケミスト人権コンサート
都於郡小学校	3年生	手話体験・点訳体験（計7コマ）
	4年生	地域の高齢者（サロン）との交流（計6コマ）
三財小中学校	7年生（中学1年生）	福祉に関する講話、地域の高齢者（サロン）との交流（計4コマ）
日章学園高等学校福祉科	2年生	ボランティアセンターに関する講話（計1コマ）
宮崎医療福祉専門学校	1年生・2年生	地域福祉特論・災害ボランティアセンターに関する講話（計11コマ）

#### (5) みんなのデイサービス事業

介護保険の要介護認定において、非該当又は非該当の可能性が高い高齢者等を対象に、中学校エリアで、介護予防のための機能訓練等を実施する住民主体型のデイサービス事業として行った。

事業を通じて、高齢者等が地域において自立した日常生活を営むことができるよう一般介護予防・生活支援の観点から支援することを目的に実施した。

また、民生委員児童委員や関係機関との連携を図りながら、広報周知も図った。

地区名	実施回数	延べ利用者数	延べ協力者数
妻	20回	294名	56名
穂北	21回	44名	35名
三納	21回	196名	74名
都於郡	22回	221名	61名
三財	23回	256名	53名

東米良	7回	16名	10名
合計	114回	1,027名	289名

(6) ふれあい総合相談センター事業（常設相談：243日）

常勤職員（1名）を配置し、総合相談窓口として多様な相談に応じ、関係機関と連携しながら解決に向けて支援を行った。また、弁護士による無料法律相談（毎月第3火曜日）を実施し、法的な解決に向けた支援にも努めた。

さらに、近年、生活困窮に関する相談も多くなり、社会福祉法人と協働で支援を行う、みやぎ安心セーフティネット事業（生活困窮者に対する相談支援実施件数：1件）の取り組みも行った。

相談内容	件数
健康問題	1件
経済生活問題	173件
家庭問題	3件
勤務・労働問題	1件
男女問題	0件
学校問題	0件
その他（法律相談含む）	50件
小計	228件
福祉用具貸与	380件
合計	608件

(7) 資金貸付事業

ア たすけあい資金貸付金

低所得者の市民が緊急かつ臨時的な出費を必要とする際に、民生委員の助言・支援を受けながら自立を支援するため、市民からの相談をもとに貸付を行う事業であるが、相談はあったものの貸付には至らなかった。

イ 生活福祉資金貸付金

宮崎県社会福祉協議会から委託を受け、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、その経済的自立、生活意欲の助長促進、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにするため、資金の貸付と必要な支援を行う窓口業務を行った。

資金区分	令和6年度実績	
総合支援資金	0件	0円
福祉資金	0件	0円
教育支援資金	1件	1,260,000円
合計	1件	1,260,000円

(8) 第1層生活支援コーディネーター業務（市全体の高齢者の生活支援・介護予防を推進）

第1層生活支援コーディネーターを配置し、高齢者の生活支援に係る住民主体の活動を支援し、地域づくりの推進を行った。併せて、地域の社会資源の把握や関係者のネットワーク作りを行い、地域における生活支援体制の整備に向けた取組みを推進した。

支援分野	具体的活動内容	件数
社会資源の把握	○住民主体の地域活動の場や移動販売車等について、第1.2層生活支援コーディネーター間にて情報収集・把握し、関連部署等との状況共有を図った。また関係する協議の場にて、人材や場・活動等の把握をした。	32件
生活ニーズの把握	○自立支援型地域ケア会議の事例を通して、利用者や家族・担当ケアマネジャー等から挙げた個々のニーズから地域ニーズを把握した。 ○区長や民生委員児童委員・福祉協力委員・地区リーダー等との意見交換を通して、地域福祉活動の状況を把握するとともに、地区資源やニーズ等の情報収集につとめた。また課題解決のための手立てや方法等についても検討を図った。 ○特に、東米良地区において、みんなのデイサービス再開や防災についても情報共有をし、連携体制の構築を図った。	55件
ネットワークの構築	○警察や消防等だけでなく、地域福祉や防災・減災をキーワードに創生会や衛生公社・小中学校校長会等新たな団体・機関等との顔の見える関係構築につとめた。 ○災害時の被災者支援で、西都青年会議所や宮崎医療福祉専門学校と連携協定を締結した。	91件
社会資源の開発及び担い手の養成	○地域支え合いの仕組みづくりとして、救急や災害時に役立つものとして安心カード作成をし、災害時避難行動要支援者やサロン・百歳体操実施箇所等対象を拡大し、配布をした。 ○サロン6か所（三財4区や三納山桜(原田・平野)、妻12区100歳体操やサイトピー穂北・谷川いきいきサロン）及び百歳体操1か所（妻6区上山路地区）の立ち上げへの後方支援をした。 ○高齢者の移動ニーズ解決のための手立てとなるよう、セニアカー講習会やコミュニティバス体験会を市や地域包括支援センター等と協働にて実施した。 ○地域資源の創出として、高齢や障がい者の中で心身・環境・経済的側面から買い物や入浴が十分に出来ない方を対象に、「さいとろんお出かけサロン事業」の検証を行い、令和7年度からの新規事業の本格開始とした。	18件
会議、打ち合わせ等への参加	○自立支援型地域ケア会議及び仕分け会議 ○区福祉推進会・サロン連絡会等での情報提供や意見交換等 ○区福祉推進会・サロン・百歳体操等の情報提供や把握・出前講座等	17件 13件 9件

	○百歳体操の協力者研修会および各地区での体験会等	4件
	○生活支援体制整備に関する打ち合わせ・協議等	7件
	○小中学校や専門学校・大学等への福祉教育の後方支援・人材育成等	16件
	○ボランティア連絡協議会役員会・総会及び研修会等	5件
	○さわやか西都クラブ会長会・グラウンドゴルフ大会・作品展等	5件
	○警察や消防・衛生公社・小中学校校長会等関係機関との打ち合わせ等	6件
	○居宅介護支援事業所等主任者会議	2件
	○福祉協力委員研修会	1件
	○災害ボランティアセンター研修会	1件
生活支援体制整備事業に関する調査研究等	○研修会(生活支援コーディネーター業務関連)参加 ○他市町村生活支援コーディネーターやアドバイザー等との協議	4件 1件
合 計		287件

(9) 社会福祉法人協働型地域貢献支援事業及び西都市社会福祉法人連絡会

社会福祉法人の地域公益的な取り組みをさらに発展させるために、西都市内に事業所を置く社会福祉法人と連携・協働し、西都市社会福祉法人連絡会として活動を行った。(本会を含む14法人が参加)

事業内容	提供数等	備考
フードバンク事業	1,466食(28世帯)	生活困窮に関する相談数が多いことから提供食数も依然として多い状況である。
お米宅配便事業	140kg(9世帯)	申し出があった世帯に対して、米の宅配を行った。
すっきりクリーン事業	0回	

(10) 市外からの視察・実習受け入れ及び職員派遣の取り組み

地域福祉活動実践者や本会職員が情報交換を行うことで、共に学び合い、更なる事業・活動の充実強化を図ることを目的に、視察研修の受け入れや職員を派遣した。

期日	研修名等	依頼者	内容
7月22日 ～7月31日	社会福祉援助技術現場実習 (1名受け入れ)	九州医療科学大学	実習生受け入れ
8月19日 ～9月20日	社会福祉援助技術現場実習 (1名受け入れ)	九州医療科学大学	実習生受け入れ
10月4日 ～6日	令和6年能登半島地震に伴う災害VCへの職員派遣	鹿児島県社会福祉協議会	被災地社協での災害VC運営活動

## 能登半島地震 災害派遣支援レポート

地域福祉課 地域支援係 押川 恭子

10月4日～6日までの間、石川県能登半島の最北端に位置する珠洲市災害ボランティアセンターの運営支援に携わってきました。珠洲市は令和6年元日の地震により、甚大な被害を受け、9,442棟のうち約5,000棟が倒壊しました。震災から半年以上が経過し、ようやく復旧の兆しが見えてきた中、9月の豪雨災害により二重被災している状況でした。

私は、被災された方のボランティアニーズを聞き取るニーズ班を担当しました。現地ニーズ班は、被災された方に寄り添いながら話を聴き、被災状況だけでなく、困りごとについても丁寧に把握していたことが印象的でした。聞き取り



後は、地元のボランティアと社協職員が現地調査を行ったうえで、NPO団体とも連携し、ボランティアの調整支援を行っていました。センターでは、活動を終えたボランティアが帰路につく際、再び全国どこかの災害ボランティアセンターで活動してもらえよう、姿が見えなくなるまで、見送りをしていたことも感銘を受けました。

震災前12,000人いた人口が、半分以下に減少し、地域コミュニティが変化しているなか、「地域コミュニティの再構築」をミッションに掲げ、復興を目指している状況を目の当たりにし、一人ひとりが今できることを考え、実行に移していくことが復興に繋がっていくと体感しました。



### ■西都社協だより No.111 より抜粋

#### (11) 他団体の事務局併任及び関係機関・団体等との連携・協働

高齢者クラブ連合会の事務局を受任し、各団体の事業推進や構成員への支援はもちろんのこと、本会が推進する事業とも連携を図りながら、共に地域福祉を推進する担い手として、活動の方向性や意識を共有し合いながら事業展開に努めた。

### 3-1 相談支援・権利擁護部門（地域福祉課 生活支援係）

日々暮らしの中で生じるさまざまな困りごとに対し、相談者の立場に寄り添った支援を心がけながら、一件一件の相談に丁寧に対応し、相談者と共に課題の解決を図った。

近年では相談内容がより複雑・多岐にわたる傾向にあり、より専門的かつ包括的な支援を行う必要性が増していることから、関係機関や多職種との連携体制の強化に努め、地域における支援ネットワークの構築を進めた。

その一環として、成年後見支援センターの運営、法人後見事業、日常生活自立支援事業などの権利擁護関連事業を実施し、判断能力が不十分な方々の権利保護と安心した生活の実現に向けた取り組みを推進した。

#### (1) 成年後見支援センター事業

西都市成年後見制度利用促進基本計画に基づき、認知症や障がいがあっても住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、成年後見制度に関する相談対応を行うとともに、制度の理解促進と利用促進を目的とした広報活動にも取り組んだ。

また、制度の適切な利用を支援するため、成年後見等の申立て支援や後見人等受任者の調整にも積極的に取り組み、関係機関との連携のもとで支援体制の充実を図った。

内容	件数	備考
相談及び利用支援	42件	アウトリーチ支援含む
受任者調整	14件	受任調整会議6回開催

申立支援	20件	本人及び親族申立て支援
出前講座	6件	サロン及び高齢者クラブ等

## (2) 法人後見事業

認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方に対し、本会が法人として成年後見人等に就任し、本人の意思を尊重しながら自己決定を支援するとともに、安心して日常生活を送ることができるよう支援を行った。

専門員3名（兼務）および支援員2名（兼務）を配置し、生活状況の把握や関係機関との連携を図りながら、適切な財産管理および身上保護に努めた。

### ア 受任件数（令和7年3月31日）

類型	受任件数
後見類型	9件
保佐類型	8件
補助類型	6件
合計	23件

## (3) 日常生活自立支援事業

宮崎県社会福祉協議会から委託を受け、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などのうち判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約にもとづき、専門員2名と生活支援員4名で支援を行った。

また、判断能力のさらに低下した利用者に関しては、成年後見制度への移行支援を行い、利用者の状態に応じた適切な支援が行えるよう取り組んだ。

### ア 相談及び問い合わせ件数

相談者区分	件数
認知症高齢者等	8件
知的障がい者等	1件
精神障がい者等	10件
その他	0件
合計	19件

### イ 契約者数（令和7年3月31日現在）

契約者区分	契約者数
認知症高齢者等	9名
知的障がい者等	13名
精神障がい者等	10名
合計	32名

### ウ 訪問調査及び視察の受け入れ

令和6年11月5日（火）宮崎県福祉サービス運営適正化委員会運営監視部会の訪問調査を

受け、ケース記録の整理等について高い評価を得た。

これを受け、令和7年1月28日（火）には、日南市社会福祉協議会の視察を受け入れ、ケース記録の整備や内部牽制体制について意見交換を行った。

#### （4）歳末たすけあい募金助成事業

「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、全国展開された「歳末たすけあい募金運動」の助成を受け、民生委員児童委員協議会等の協力を得て、以下の事業を実施した。

事業名	事業内容	配付対象者数	
いつでも安心 見守り事業	災害時避難行動要支援者の把握を目的に、対象者に非常時に役立つ「防災グッズ」をお届けした。	妻	37名
		穂北	29名
		三納	33名
		都於郡	12名
		三財	19名
		東米良	15名
		合計	145名
	上記の対象には当てはまらないが、日々の見守り活動が必要な方に配布できる品物を準備し、民生委員児童委員が見守り活動を行った	全地区	786名

#### （5）他団体の事務局併任及び関係機関・団体等との連携・協働

民生委員児童委員協議会の事務局を受任し、各団体の事業推進や構成員への支援はもちろんのこと、本会が推進する事業とも連携を図りながら、共に地域福祉を推進する担い手として、活動の方向性や意識を共有し合いながら事業展開に努めた。

### 3-2 相談支援・権利擁護部門（地域包括支援センター）

高齢者の心身の健康保持、保健、医療の向上、生活の安定のために必要な援助を行うとともに、地域の高齢者の生活を包括的に支援することができるよう、「地域包括ケアシステム」構築のための体制づくりを図り、地域包括支援事業を一体的に実施する中核的機関として、以下の事業を行った。

#### （1）総合相談支援業務

高齢者が、住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続することができるように、ニーズを把握し、地域における適切な資源やサービス、関係機関・制度の利用に繋げるなどの支援を行った。また、自立支援に向けた自助、互助の視点を持ち、悪化予防の支援ができる包括的・継続的な生活の継続が図れるよう支援した。

## ア 総合相談窓口業務

地域の高齢者の総合相談窓口として、地域住民のニーズに応じ、各関係機関と連携を取りながら必要な支援を行った。

	相談区分	件数
総合相談	介護予防に関すること	757件
	事業対象者に関すること	434件
	福祉用具に関すること	172件
	住宅改修に関すること	129件
	介護に関すること	199件
	福祉サービスに関すること	397件
	介護保険に関すること	793件
	インフォーマルサービスに関すること	375件
	福祉施設に関すること	86件
	医療機関に関すること	476件
	安心・安全に関すること	237件
	障害に関すること	8件
	行方不明高齢者に関すること	15件
権利擁護相談	日自・成年後見に関すること	40件
	消費者被害に関すること	2件
	高齢者虐待に関すること	26件
	困難事例に関すること	142件
	認知症高齢者に関すること	532件
	精神疾患に関すること	94件
包括的継続的 ケアジメント	関係機関からの相談に関すること	9件
	ケママネジャー後方支援に関すること	6件
その他	経済に関すること	28件
	苦情に関すること	6件
	上記以外の事項	38件
	合計	5,001件

## イ 実態把握業務

地域住民や各関係機関からの情報提供により、地域の高齢者の心身の状況や家庭環境等について実態把握を行うことで、生活状況の悪化や要介護状態にならないための予防的対応や未然防止的な対応さらに、ニーズの主訴の解決に向けた支援に努めた。

件数
533件(延件数)

(2) 権利擁護相談業務

判断力の困難な状況にある高齢者が、地域において尊厳のある生活を維持しつつ、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から支援を行った。

虐待については、福祉事務所の虐待認定されたもののみを件数に計上することとしているが、虐待疑いの件数は継続してみられている。相談件数は家族の課題や経済的な課題等複合的な課題を有した相談が増加傾向にある。成年後見制度利用については、西都市成年後見支援センター等、関係機関と連携して対応を行ってきた。

初回相談を受けた後に実態把握業務の中で権利擁護業務として対応した内容	件数
身体的虐待について	1件
経済的虐待について	0件
精神的虐待について	4件
性的虐待について	0件
介護放棄について	0件
日自・成年後見制度利用について※	25件
消費者被害について	0件
困難事例について	51件
認知症に関すること	209件
精神疾患に関すること	35件
合計	325件

※「日自」とは日常生活自立支援事業を表しています

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

介護支援専門員（ケアマネジャー）の日常的業務相談の対応、支援困難事例などへの指導・助言等の支援を行った。

さらに、効果的な地域支援及び地域連携の構築の視点として専門職（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員）が関係機関や地域住民との情報共有の機会を持ち、専門職としての能力を活かしたチーム支援に努めた。

内容	件数
ケアマネジャー等からの相談件数	15件
地域連携会議	97件
多職種連携に係る会議	19件
ケアマネジメント支援に係る会議	6件
その他	6件
合計	143件

会議又は事業名	内容等
自立支援型地域ケア会議	【目的】高齢者の QOL の向上、要介護認定者の減少及び重度化予防、介護保険料の上昇抑制等を目的に西都市主催で開催。

	<p>【内容】包括支援センター職員及び居宅介護支援事業所の立案した介護予防プランに対して、自立を阻害する原因の追究と課題の整理、インフォーマルサービスの活用、医療介護の連携、地域課題の発見・解決策の検討、参加者の OJT 効果が得られるよう専門職からのアドバイスを受ける。</p> <p>【回数】20回 内事例提出 10回</p>
地域課題の仕分け会議	<p>【目的】自立支援型中央地域ケア会議で抽出された地域課題に対しての解決に向けての協議。</p> <p>【内容】行政、生活支援コーディネーター、包括支援センター職員による提出事例に対して地域課題を抽出し、解決に至るための検討を行う。</p> <p>【回数】20回</p>
キュア・ケアネットワーク研修会	<p>【目的】地域の医療・介護の実務者の顔の見える関係づくりと共通知識力の向上を行い課題解決が早期にできるよう実施。</p> <p>【内容】</p> <p>□令和6年12月6日(金) 19:00～</p> <p>演題 「高齢者のうつについて」</p> <p>講師 医療法人 恵喜会 西都病院 看護部長 釘崎 信 氏 地域連携室室長 田原 誠之 氏</p> <p>方法 集合型開催</p> <p>67名参加</p>
権利擁護研修会	<p>【目的】高齢者虐待について基本法律を学ぶとともに支援者として判断に迷う場面での法的根拠に基づいた対応を協議して学ぶ。</p> <p>【内容】</p> <p>□令和6年9月19日(木)</p> <p>□高齢者・障がい者の相談実務に従事する者、介護保険施設、医療機関の社会福祉士、行政職対象の研修会を実施</p> <p>□弁護士 青木大樹 氏から法制度について 社会福祉士 柿並 興昌 氏から支援現場の対応について講義研修</p> <p>39名参加</p>
西都市避難行動要支援者情報共有会議	<p>【目的】</p> <p>① 市の登録者情報をもとに地域住民と支援者との情報共有</p> <p>② 個別の見守り体制など支援力の強化</p> <p>【内容】</p>

	<input type="checkbox"/> 民生委員児童委員協議会 6月定例会に於いて実施 <input type="checkbox"/> 市(福祉事務所)が登録する「避難行動要支援者」について民生委員児童委員、居宅介護支援事業所、包括支援センターと情報共有を図り、最新の情報を更新する機会を設けた。
介護予防ケアマネジメント研修	<b>【目的】</b> 介護支援専門員等専門職が介護予防に資する知識を深め、個々のケアマネジメント能力の向上を図り、利用者様等の自立支援の推進を実践できるようになる。 <b>【内容】</b> 「西都市避難行動要支援者の仕組みを理解してケアマネジメントに活かそう」 <input type="checkbox"/> 令和7年1月31日(金) 講師 西都市福祉事務所 次長 串間 宜仁 氏 係長 黒木 弘志 氏 参加者 40名
2 包括カンファレンス	<b>【目的】</b> 北・南両地域包括支援センター間での地域支援事業の内容充実と共有化。 <b>【内容】</b> 包括支援センター職員による情報交換、意見交換会議 6回開催（集合にて開催）

#### (4) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務

高齢者の心身の状況とそれを取り巻く環境などを勘案し、自立支援に向けて、利用者の主体的な活動と参加意欲の促進を図りながら介護予防の支援に努めた。自立支援に向けた介護予防ケアマネジメントとして、地域支援事業の中のサービスに位置づけられている通所型サービス、訪問型サービス利用のマネジメントを行った。

支援件数	件数
介護予防支援	598件(内、初回36件)
地域包括支援センター	437件(内、初回28件)
居宅介護支援事業所(委託)	161件(内、初回8件)
介護予防ケアマネジメント	708件(内、初回24件)
地域包括支援センター	519件(内、初回19件)
居宅介護支援事業所(委託)	189件(内、初回5件)
居宅介護支援事業所実務者会議	2回(主任者会議)出席

#### (5) 第2層生活支援コーディネーター業務（西都市南地区地域包括支援センターエリア）

高齢者の生活支援、介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において、生活支援等サービスの提供体制の構築に向けた調整を行うため、第2層生活支援コーディネータ

一を配置し事業を実施した。

分類	内容	件数
1. 資源の把握に関すること	社会資源の把握	49件
2. 生活ニーズの把握について	個別ニーズの把握 地域ニーズの把握	40件
3. 資源の開発に関すること	公民館百歳体操 (竹園・平野・原田)	3件
4. ネットワークの構築に関すること	関係機関や社会資源の窓口との関係づくり	68件
5. 会議・研修の参加 地域活動の訪問 等	会議・研修 地域活動訪問 等	101件

### 免許返納しやすい環境づくり

◆車の運転がまだできるうちから、  
**バスに乗る機会を増やしてもらいたい!**

**【令和6年度の対応】**

- ◆路線バスに乗って、「誰でもカフェ」(奇数月の金曜日開催)に参加してもらう企画(コムバス体験会)を開催。
- ◆参加者:カフェ参加者21名中コムバス利用者7名  
(三財並木地区・都於郡青山地区)
- ※コムバス利用者7名中、バス乗車初体験 4名
- ※カフェ参加者21名中、バスに乗ったことがない方 10名
- ※アンケート結果は、市総合政策課にも情報提供。

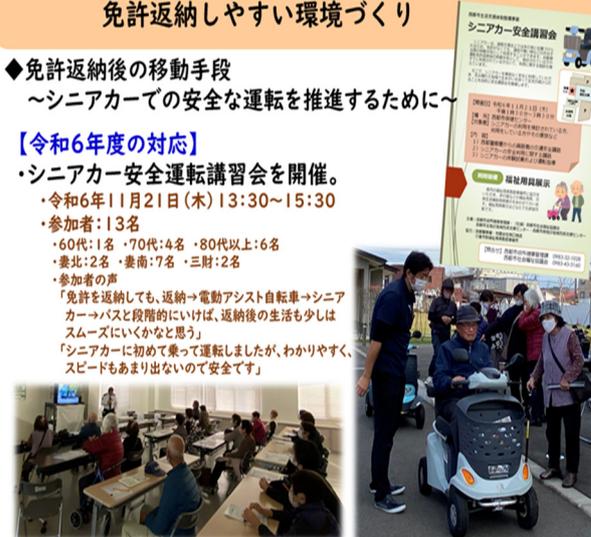


### 免許返納しやすい環境づくり

◆免許返納後の移動手段  
～シニアカーでの安全な運転を推進するために～

**【令和6年度の対応】**

- ◆シニアカー安全運転講習会を開催。
- ◆令和6年11月21日(木)13:30～15:30
- ◆参加者:13名
- ◆60代:1名・70代:4名・80代以上:6名
- ◆妻北:2名・妻南:7名・三財:2名
- ◆参加者の声
- 「免許を返納しても、返納→電動アシスト自転車→シニアカー→バスと段階的にいけば、返納後の生活も少しはスムーズにいくかなと思う」
- 「シニアカーに初めて乗って運転しましたが、わかりやすく、スピードもあまり出ないので安全です」



## (6) 認知症地域支援推進受託事業

認知症の症状に応じ、日常生活において必要な医療・介護及び生活支援を行うサービス機関が有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への支援の構築を行うとともに、認知症ケアの向上を図るための取り組みを推進するため、認知症地域支援推進員を配置し認知症施策推進を行った。

分類	内容	回数	人数
1. 普及啓発・本人発信支援	認知症サポーター養成講座	9回	167人
	認知症サポーター養成講座勸奨	30回	78人
	キャラバンメイト意見交換会	1回	15人
	認知症フォーラムにおける広報	62回	—
	世界アルツハイマー月間における広報	34回	—
2. 予防	出前講座	6回	197人
	介護予防いきいき百歳体操	23回	227人
	免許証自主返納高齢者訪問・電話	実32人	延73人

3.医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	グループホーム運営推進会議	2回	—
	居宅介護支援事業所との連携に係る会議	2回	—
	オレンジカフェ	12回	274人
	誰でもカフェ	5回	66人
	認知症初期集中支援チーム支援ケース協議検討会	1回	—
	認知症初期集中支援チーム員会議	—	—
	認知症初期集中支援チーム同伴訪問	—	—
	相談・実態把握	実48人	延352人
4.認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の人への支援・社会参加支援	元気を出そう会	11回	121人
	認知症 SOS ネットワーク登録呼びかけ(個別)	実3人	延3人
	認知症 SOS ネットワーク登録呼びかけ(集団)	9回	175人
	認知症 SOS ネットワーク事前登録	実5人	延8人
	ヘルプカードの紹介	18回	221人
	ヘルプカードの作成支援	3回	2人
	チームオレンジの支援等	1回	8人
5.その他	認知症施策推進会議など会議等への出席等	58回	—



#### (7) 学校講義及び各種実習生の受け入れ

宮崎医療福祉専門学校看護学科 35名 九州医療科学大学 2名

宮崎医療福祉専門学校理学療法士科 35名

計72名

#### 4-1 介護・生活支援サービス部門(総務課 在宅支援係)

訪問介護員が要支援者・要介護者・障がい者等の自宅を訪問して、食事、排泄等の介護・調理・洗濯・掃除等の家事・外出支援, 生活に関する相談・助言等の日常生活に必要な支援を行い、高齢者や障がいのある方が、地域で暮らし続けるために、介護サービスなどの多様なサー

ビスを提供するため、以下の事業を実施した。

#### (1) 訪問介護事業

ホームヘルパーが、介護支援専門員からの「居宅サービス計画」に基づいて、高齢者宅等で、身体介護、生活援助等のサービスを提供しました。

また、様々な制度の知識や介護技術の習得に努め、利用者の実態に応じたサービスが提供できるように、サービス利用者や家族との信頼関係を深めることに努めた。

#### ア 訪問介護事業（要介護認定者）

実利用者数	訪問回数	訪問時間
19名	1,658回	1,848.75時間

#### イ 訪問型サービス事業（要支援認定・総合事業対象者）

実利用者数	訪問回数	訪問時間
10名	325回	292.75時間

#### ウ 宮崎県指導監査

- ① 期 日 令和6年9月11日（水）
- ② 会 場 西都市老人福祉センター相談室
- ③ 出席者 県担当職員2名
- ④ 内 容 訪問介護事業所業務状況

#### (2) 障害居宅介護事業・地域支援事業

障害者総合支援法に基づき、障がいのある利用者が居宅において自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、ヘルパーを派遣し支援を行った。

	実利用者数	派遣回数	延べ派遣時間
居 宅	14名	3,757回	3,905.25時間
同 行	1名	32回	64時間
移 動	4名	232回	243.75時間
合 計	19名	4,021回	4,213時間

### 4-2 介護・生活支援サービス部門（総務課 障害支援係）

障害のある方やその家族等の相談窓口として、必要な情報の提供及び助言、障害福祉サービスの利用援助や調整を行い、障害のある方の自立と社会参加の促進を図るため、以下の事業を実施した。

#### (1) 障がい者生活サポートセンター「なごみ」（一般相談支援事業・特定相談支援事業）

障がいのある方が、自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、ご本人やご家族、介助者の方などからの相談に応じ、必要な情報の提供や、権利擁護のために必要な援助を

行った。

また、各サービス事業所ときめ細かな情報交換を行い、関係機関との連携・協働に努めた。

#### ア 相談件数

	身体	重症心身	知的	精神	発達	高次脳	難病	その他	合計
障がい児	1件	0件	33件	0件	131件	0件	2件	2件	169件
障がい者	255件	2件	264件	299件	26件	31件	64件	0件	941件
合計	256件	2件	297件	299件	157件	31件	66件	2件	1,110件

#### イ 支援方法

	訪問	来所	同行	電話 相談	電子 メール	個別 支援 会議	関係 機関	その他	計
障がい児	48件	3件	8件	66件	16件	7件	20件	1件	169件
障がい者	194件	6件	29件	421件	126件	4件	64件	2件	846件
合計	242件	9件	37件	487件	142件	11件	84件	3件	1,015件

※複数の障害を持たれていることが多く、相談件数と支援方法の合計件数に違いがあります。

#### ウ 支援内容

内 容	障がい児	障がい者	合計
福祉サービスの利用等に関する支援	75件	452件	527件
障がいや病状の理解に関する支援	0件	1件	1件
健康・医療に関する支援	4件	59件	63件
不安の解消・情緒安定に関する支援	39件	220件	259件
保育・教育に関する支援	11件	1件	12件
家族関係・人間関係に関する支援	1件	4件	5件
家計・経済に関する支援	0件	2件	2件
生活技術に関する支援	0件	16件	16件
就労に関する支援	0件	0件	0件
社会参加・余暇活動に関する支援	0件	1件	1件
権利擁護に関する支援	0件	2件	2件
住宅入居等に関する支援	1件	2件	3件
その他	38件	86件	124件
合 計	169件	846件	1,015件

#### エ 計画作成実績

内 容	件 数
障がい児	33名
障がい者	117名
合 計	150名

令和6年度 社会福祉法人西都市社会福祉協議会事務局組織図

【令和6年3月31日現在】

